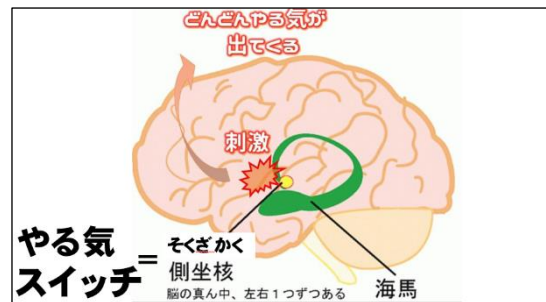


自分で押そう、やる気スイッチ！＜朝礼講話（平野先生）＞

平野先生から子どもたちに、「やる気が出ない時、どうしていますか？」と質問がありました。選択肢は、①「やる気が出るまで待つ」、②「やる気が出なくても始める」の2つです。やる気がないのに始めても効果がないから、やる気になるまで待つ方がいいとよく言います。脳の研究の成果で、やる気というのは、脳の「側坐核（そくざかく）」という部分が刺激されて起こることが分かっています。では、どうしたら、側坐核を刺激することができるかという、「とにかくやり始める」ことだそうです。やり始めることで側坐核が刺激されて、次第にやる気が起きます。待っていてもやる気にはならないということですね。あまりやる気なくても、とにかくやり始めてみる、言い換えれば、自分で自分の「やる気スイッチ」を入れるようにするという事です。



【漢字・算数博士検定の結果報告】



	漢字博士		算数博士	
	合格証	がんばり賞	合格証	がんばり賞
1年	11人	9人	9人	8人
2年	1人	7人	3人	6人
3年	4人	10人	7人	8人
4年	9人	18人	9人	10人
5年	8人	11人	1人	9人
6年	7人	10人	9人	9人

※「合格証」は100点。「がんばり賞」はそれに準ずる成績の者

自分たちの記録を超えよう！＜なわとび練習＞

「なわとび集会」（2月12日（金））に向けての練習が始まりました。今年度は、感染症対策として「みんなでジャンプ」をカットして、「8の字跳び」のみとしました。この日は、ふれあい班での初練習とあって、縄に入るタイミングがうまく取れずに苦勞をしている子が結構いました。最後に、記録を取りましたが、どの班も60回程度（3分間）でした。昨年度の最高記録154回を目指して、みんなで協力して頑張りましょう。



世界のトヨタはすごい！＜校外学習(5年)＞

5年生が「トヨタ会館・組立工場」に校外学習に行きました。緊急事態宣言が出て、受け入れてもらえないかと心配していましたが、無事、出かけることができました。「トヨタ会館」では、多くの展示物を見ながら、現在から未来へのクルマについて学びました。また、「組立工場」では、流れ作業で車が組み立てられていく様子を見学しました。バスが工場の入口に迷うほどの大きな工場でした。

